

月 旬	9			10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
生育 ステージ	「水稻(移植)」									播種期			田植え			分けつ期			最高分けつ期			幼穂形成期			出穂期			登熟期			成熟期								
管理 作業	● 堆肥の施用	● 深耕			● 耕うん	● 塩水選・種子消毒	● 播種	● 畦畔作り		● 基肥施用	● 代かき	● 箱施肥散布	● 田植え(基肥施用)	● 除草剤散布		● 中耕・草取り	● 畦畔管理		● 穂肥施用	● 畦畔管理		● 斑点米カメムシ類	● いもち病防除		● ヒエ抜き	● 畦畔管理		● 収穫・乾燥・調製				● 稲わらの鋤き込み							
水管理													【深水】		【浅水】				【中干し】	【間断かんがい】		【湛水管理】		【間断かんがい】							【落水】								
栽培 の ポ イ ン ト	1. 土づくり ・有機物の補給として、稲わらの鋤き込みを行う。 ・堆肥等の施用を積極的に行い、地力維持に努める。 ・マルチホート2号を10a当り1~2袋(基肥または追肥)施用。			2. 作土層の拡大 ・深さ15cmを目標とした耕耘を行い、根域を拡大する。			3. 基肥 ・マイルドユーキ030号を30~40kgを目安に施用する。 ・側条施肥田植機にも対応可能。 ・基肥一発肥料の場合は、マイルドコート200号を40-50kg又は、シリカユーキ1発を30~40kg、新マトリックス有機356を40~50kg施用する。 ・ペースト肥料の場合は、 フレーバーペースト を50kg施用する。			4. 穂肥 ・NKマイルド028号を出穂前20日を目安に(幼穂長0.5~1cm)施用する。 ・施用量は、10~20kgを目安に施用する。 ・施用遅れは、粗タンパク質含有率を上げ、食味に影響をおよぼすので注意する。 (化学チッソ量4.5kg以下)			5. 育苗 ・種子消毒は、温湯消毒又は、微生物農薬エコホープDJの200倍24時間浸漬で行う。 (陰干しは、しない!) ・播種量は、催芽粒で120~150g/箱の薄播きとする。 ・ハウス内の温度管理とかん水量に注意し、健苗育成に努める。特に30℃以上の高温に注意する。			6. 田植え ・育苗日数は20~25日とし、2~2.5葉期で移植する。(徒長苗に注意!) ・移植時に初期害虫防除、スミリンゴガイの食害防止を目的に、パダン粒剤4を箱あたり60~100g使用する。 ・1株当り3~5本、栽植密度は㎡当り18.5株密植に注意する。(坪60株植え)			7. 雑草防除 ・秋冬期の耕うんを行い、雑草の発生量の抑制に努める。 ・生育中の畦畔管理は、草刈り機又は、バスタ液剤(2回迄)やラウンドアップマックスロード(3回迄)を散布する。 ・除草剤散布については、一発処理剤のコメット剤を田植後30日迄に散布する。 ・雑草の発生が多い場合は、手取り又は中耕を行う。 ・藻類の発生が多い場合は、モゲトン粒剤を散布する。			8. 病虫害防除 ・畦畔及び農道などの雑草は、病虫害の発生に影響するので、草刈りを行い水田周辺の環境保全に努める。 ・本田後期の病虫害防除は、無人ヘリ・地上防除で対応する。(アミスターエト・キラップ【粒剤・フロアブル剤】) ・スクミリンゴガイ(ジャンボタニ)の防除については、スクミンベイト3を発生時に散布する。 ・稲こうじ病については、ドイツボルドーAを出穂10日前迄に散布する。(薬害注意!)			9. 水管理 ・田植え初期は深水、活着後は浅水で管理し分けつを促進する。 ・有効茎数確保後(1株当り18本前後)、中干しに入り無効茎数と下位節間の伸長を抑制する。 ・落水時期は、出穂後25日以降とする。			10. 収穫・乾燥・調製 ・収穫は、帯緑色もみ歩合15%を目安に適期に行う。 ・乾燥は、水分14.5~15%とし、過乾燥に注意する。 ・調製は、グレーダーの網目は1.8mm以上で選別する。											

※使用量は、10a当たり。
 ※●マイルドユーキ030号(10-13-10) 有機態チッソ5.3%、無機態チッソ4.7% ●マイルドコート200号(12-10-10) 有機態チッソ6.1%、無機態チッソ5.9%
 ●シリカユーキ1発(15-8-8) 有機態チッソ3.8%、無機態チッソ11.2% ●**フレーバーペースト(7-3-4) 有機態チッソ3.5%、無機態チッソ3.5%**
 ●NKマイルド028号(10-2-8) 有機態チッソ5.3%、無機態チッソ4.7% ●新マトリックス有機356(13-5-6) 有機態6.6%、無機態6.4%